

①

学習プリント＜社会5年 低い土地のくらしー岐阜県海津市ー＞NO.1 月 日

教科書 p 22～27 組 番 名前 ()

1 教科書 p 23 の「やってみよう」に取り組みましょう。

(1) 海面の高さ (0m) よりも低いところに色をぬりましょう。 略

(2) 海津市のまわりにある三つの川の名前を、地図帳から調べて書きましょう。

左から順に、揖斐川、長良川、木曽川

2 次の文は、海津市について説明したものです。() にあてはまる言葉を教科書 p 22～23 から調べて書きましょう。

海津市は、三つの大きな川の下流にあります。川と川にはさまれた土地の多くは、海面より (低い) です。堤防に囲まれたこの土地は (輪中) とよばれています。

堤防とは、(こう水) や (高波) から、人々の生活を守るためにつくられたものです。海津市は、台風や大雨などによる (水害) を防ぐために、より高く強い堤防をつくる努力を続けてきました。

3 海津市の人々は、水害からくらしを守るために、どのようなふうをしてきたのでしょうか。教科書 p 26～27 から調べて書きましょう。

- 少しでも高い土地に家を建てた。
- 水屋を建てた。
- 治水工事をした。(川の流れや水路などを改良して水害を防ぎ、水をくらしや産業に利用できるようにした)
- 80 ほどあった輪中を 30 ほどにまとめる工事をした。
- 大型の排水機場をつくり、水がたまる前に外に流し出すようにした。
- 市と市民が協力して、水防練習を行ったり、水防倉庫を備えたりした。

②

学習プリント＜社会5年 低い土地のくらしー岐阜県海津市ー＞NO.2 月 日

教科書 p 28～30 組 番 名前 ()

1 海津市に住む人々は、豊かな水をどのように農業に生かしているのでしょうか。

教科書 p 28～29 を見て、正しいものに○を、正しくないものに△をつけましょう。

(○) 海津市では、昔から果物や野菜よりも米をたくさん生産している。

(○) 海津市では、水路をうめ立てる工事を行ったことで、機械を使った農業ができるようになった。

(△) 海津市では、昔からパイプラインがあったため、必要なときに必要な量の水を使うことができた。

(△) 海津市には、用水路がたくさんあるが、排水路がないため、農業であまった水を流すことができない。

2 海津市の観光について、教科書 p 30 を見て次の問題に答えましょう。

(1) 海津市には、たくさんの観光客がおとずれています。どのような施設にたくさんおとずれていますか。グラフを見て多いものから順に三つ書きましょう。

1、千代保稲荷神社 2、千本松原・木曾三川公園 3、海津温泉

(2) 海津市は、池や川をどのような施設に利用していますか。二つ書きましょう。

ヨットの練習場

つり (の施設)

3 海津市はどのような市と言えますか。キャッチフレーズをつけましょう。また、その理由を書きましょう。

キャッチフレーズ

○水害とたたかってきた市

○豊かな水を生かしている市

理由

○土地が海面より低く、水害が多かったため、市と市民が協力して、堤防をつくったり、水防練習や水防倉庫を備えたりしているから。

○豊かな水を使って稲作だけでなく、野菜や果物を生産したり、池や川をヨットの練習場やつりなどに利用したりして、農業や観光にも力を入れているから

③

学習プリント＜社会5年 高い土地のくらし＞群馬県嬬恋村→NO.1 月 日
教科書 p 32～35 組 番 名前 ()

1 次の文は、嬬恋村について説明したものです。教科書 p 32～33 を見て、正しいものに○を、正しくないものに△をつけましょう。

(△) 嬬恋村は、1年を通して東京よりも平均気温が高い。

(○) 嬬恋村では、1000mをこえる土地が多い。

(○) 嬬恋村では、12月～2月の間の平均気温が0度よりも低い。

(△) 嬬恋村は土地が高いため、野菜をつくることができない。

2 嬬恋村は栄養分が少ないやせた土地で、農業には適していませんでした。どのようにして、農業がさかんになったのでしょうか。教科書 p 34～35 から調べて書きましょう。

○村の人たちが共同で、キャベツのさいばいや出荷を始めた。
(農業協同組合をつくった。)

○村の中心を通る国道ができ、交通が便利になった。

○村の人々が土地を耕し、さいばい方法をくふうした。
(夏でもすずしい気候を生かしたさいばい方法をくふうした。)

○予冷施設を設置した。

3 嬬恋村のような土地でさいばいされる野菜を高原野菜と言います。高原野菜とはどのようなものですか。説明しましょう。

高い土地（高原）で、夏でもすずしい気候を生かしてさいばいする野菜のこと。

(4)

学習プリント＜社会5年 高い土地のくらし－群馬県嬭恋村－＞NO.2 月 日

教科書 p 36～38

組 番 名前 ()

1 次の文は、嬭恋村のキャベツづくりについて説明したものです。() にあてはまる言葉を教科書 p 36～37 から調べて書きましょう。

嬭恋村では、すずしい気候を生かして、ほかの産地の生産が(少ない) 夏から秋に、新鮮で安全な野菜を収穫できるようにくふうをしています。

促成(そくせい)さ(い)ばい・抑制(よくせい)さ(い)ばいとは、しゅんの時期とずらした時期に(出荷) して、よりよい価格で(売れる) ようにくふうするさいばいです。

嬭恋村がある群馬県では、(夏秋) キャベツの生産量が日本で一番多いです。

2 嬭恋村の人々は、豊かな高原の自然をどのように生活に生かしているのでしょうか。教科書 p 38 を見て、正しいものに○を、正しくないものに△をつけましょう。

(○) 嬭恋村の小学校では、冬にスケートの授業や大会がある。

(○) 嬭恋村の小学校では、収穫(しゅうかく)されたキャベツが給食で出されている。

(△) 嬭恋村は、冬の気温が低く、雪がたくさんふるので、1年の間で冬の観光客がととても多い。

(○) 嬭恋村は、夏にすずしい気候を生かして、ハイキングやマラソン、自転車レースなどを行うので、1年の間で夏の観光客がととても多い。

3 嬭恋村はどのような村と言えますか。キャッチフレーズをつけましょう。また、その理由を書きましょう。

キャッチフレーズ

○高原の自然を生かしている村

理由

○すずしい気候を生かしてキャベツを中心にした高原野菜を生産したり、夏にはハイキングやマラソン、冬にはスキーなど、多くの観光客がおとずれるように工夫したりしているから。

⑤

学習プリント＜社会5年 国土の気候の特色＞NO.1

月 日

教科書 p 42～43

組 番 名前 ()

1 教科書 p 42 [1] の写真を見て、四季の変化についてまとめましょう。

長野県松本市では、(春) は桜がさき、(夏) には太陽の光がふり注ぎ、
(秋) には木々が紅葉し、(冬) には雪景色が見られます。

6月中ごろから7月ごろにかけては、雨が多くふる (つゆ) の時期です。そして、
(夏) から (秋) にかけては (台風) がやってきます。

(四季) の変化が見られることは、日本の (気候) の大きな特色です。
(気候) とは、その地域の天気、気温、風などの長い年月の平均的な状態です。

2 教科書 p 43 [2] や [3] ～ [6] の資料を見て、地域による気候の違いについて考えます。

- (1) 北海道でえぞやまざくらが一番はやくさきはじめる月日は何月何日でしょう。
また、沖縄でひかんざくらが一番はやくさきはじめる月日は何月何日でしょう。

北海道	えぞやまざくら	4月	20日
-----	---------	----	-----

沖縄	ひかんざくら	1月	16日
----	--------	----	-----

- (2) なぜ、北海道と沖縄では、桜がさきはじめる時期がちがうのでしょうか。 [3] と [6] の資料を見比べて、まとめましょう。

3月の北海道と沖縄を比べると、北海道知床半島では、(流水) が見られ、
沖縄県石垣島では (海開き) が行われています。3月の北海道と沖縄では、
(あたかき) が大きくことなるのだと思います。

⑥

教科書 p 44～45

組 番 名前 ()

1 教科書 p 44[1]の資料を見て、7月と1月の降水量の違いについてまとめましょう。

- ・ 太平洋側の降水量は (7) 月に多い。
- ・ 1月に降水量が多いのは (日本海) 側である。

2 教科書 p 44・45の文章を読んで、つゆと台風、季節風についてまとめましょう。

つゆ………… (6月中ごろ) から (7月ごろ) にかけて、雨が多くふる時期のこと。

と。場所によっては (短時間) で多くの雨がふる。(農業) にとっては、

めぐみの雨となる大切な時期。

台風………… (夏) から (秋) にかけて、日本をおそう。特に (沖縄) や

(九州)、(四国地方) は、台風の被害が多い。

季節風………… (季節) によってふく方向がかわる風のこと。日本の上空では、夏には (南

東) (太平洋) から、冬は (北西) (ユーラシア大陸) からふく。夏には

(太平洋側) に多くの (雨) をふらせ、冬には (日本海側) に (雨)

や (雪) をもたらす。

3 教科書 p 44・45 を参考に、つゆと台風、季節風のえいきょうについて正しいものに○

を、正しくないものに△をつけましょう。

(○) 夏の北海道は、ほかの地域とくらべて雨が少なく、つゆがない。

(△) 台風の強い風と多くの雨で、電柱や木はたおされるが、作物がだめになることはない。

(△) 冬の日本海側では、晴れる日が多く、太平洋側では、雪がふる日が多い。

(○) 夏は、つゆや台風のえいきょうで、日本全体で雨が多い。特に太平洋側で多くの

雨がふる。

⑦

1 教科書 p 46 1 のグラフを読み取りましょう。

北海道の気候【帯広】……………年平均気温は (6. 8) °Cで、寒さがきびしい。また、降

水量は、他の地域より (少ない) ようだ。

日本海側の気候【上越】……………夏の気温は、(20) °C～(30) °Cで、太平洋側

と同じくらい。また、1月や12月は降水量が (400)

mm 以上で、たくさん雪が降っていることが分かる。

中央高地の気候【軽井沢】……………1月の気温は (0) °Cより低く、8月は (20) °C

に近い。夏と冬の気温差が大きい。また、一年を通して、(降

水量) が少ない。

太平洋側の気候【静岡】……………年平均気温は (16. 5) °Cで、あたたかい。また、夏

や秋によく (雨) がふる。

瀬戸内海の気候【高松】……………(太平洋側) の気候と似ている。年降水量は (1082.3)

mm でやや少ない。

南西諸島の気候【那覇】……………12月の気温は (20) °Cに近く、冬でもあたたかい。

また、年降水量は (2040) mm で、雨が多い。

3 教科書 p 47 の「ひろとさんのまとめ」を参考に、これまでの学習をふりかえって日本の気候の特色についてまとめましょう。

- ・ 日本には(四季)があり(つゆ)や(台風)もくらしにえいきょうする。
- ・ 日本にはおおきく (6つ) の気候がある。
- ・ 各地の気候は、(南北の位置) や (地形)、(季節風) によって、あ

たかさや雨、雪の量にちがいがあ

⑧

学習プリント＜社会5年 あたたかい土地のくらしー沖縄県ー＞NO.1

月 日

教科書 p 48～49

組 番 名前 ()

1 地図帳を見て、沖縄県の位置を確認しましょう。その後、教科書 p 48 の [1]～[3] の資料を見て、沖縄県の気候の様子についてまとめましょう。

・沖縄では、3月から4月に (海開き) をしている。

・沖縄には、毎年、およそ (7 または 8) 個の (台風) が通る。沖縄県は、日

本で最も台風ひがいの被害が (多い) 県である。

・沖縄なはの那覇は、冬でも気温は (15) °C以上あり、あたたかい。

2 教科書 p 49 [4] や [5] の資料を見て、沖縄県では、あたたかい気候に合わせて、どのような工夫をしているのか、気付いたことを書きましょう。

・屋上には、水不足に備えて貯水タンクがある。

・戸を広くとって、家の中の風通しをよくしている。など

3 沖縄でさいばいされている作物、沖縄の観光地や文化など、沖縄県について知っていることや知りたいと思うことを書きましょう。

・さとうきびやパイナップルが栽培されている。

・プロ野球のキャンプ地になっている。

・首里城がある。 など

9

1 教科書 p50・51 を読んで、あたたかい気候に合った農業について () にあてはまる言葉を書きましょう。

「さとうきびのさいばい」

- ・さとうきびは、収穫時の高さが (2 m) にもなり、沖縄県内で (一番多く) つくられている作物。(日差しまたはかんばつ) や (台風) などに強く、(沖縄の宝) とよばれ、大切にされている。

- ・さとうきびは、(12) 月ごろから (3) 月ごろに収穫される。

「パイナップルのさいばい」

- ・国内産のほとんどが (沖縄県) で生産される。パイナップルは、植え付けてから収穫まで (2年) もかかる。
- ・パイナップルが、沖縄の暑い日差しで (日焼け) しないように一つ一つ (ふくろ) につつんだり、(ネット) をかけたりして工夫している。
- ・収穫は (夏) に行われ、葉の先にあるとげから体を守るために (厚い) 作業服を着て収穫するので、大変。

2 教科書 p52・53 を読んで、あたたかい気候に合った観光や沖縄の課題について () にあてはまる言葉を書きましょう。
「沖縄県の観光」

- ・1年を通して、(あたたかく)、美しい自然が残されており、世界遺産の (首里城) もある。また、プロ野球やサッカーチームの (キャンプ) も行われている。
 - ・観光客は年々 (増えて) いる。また (外国人) 観光客も増えており、さまざまな (言語) の (案内標識) の設置を進めるなどのくふうをしている。
- 「沖縄県の課題」
- ・(海水) の温度が上がることなどによって (さんごしょう) が弱ってしまう。
 - ・(開発) などによって、(赤土) が海に流れこみ、環境を悪化させる。
 - ・アメリカの (軍用地) が多い。

⑩

学習プリント＜社会5年 あたたかい土地のくらしー沖縄県ー＞NO.3

月 日

教科書 p54～55

組 番 名前 ()

1 教科書 p54・55 を読んで、沖縄県の文化について () にあてはまる言葉を書き
ましょう。

- ・140 年ほど前、沖縄県には王国（琉球王国）があった。（首里城）はそのころ
の建物をよみがえらせたもので、（世界文化遺産）に登録されている。
- ・地域には（エイサー）とよばれるおどりが今も残っている。
- ・沖縄県の料理には、（ゴーヤー）や（もずく）など特産物が使われている。
- ・（三線）は沖縄県の歌やおどりには欠かせない楽器。
- ・沖縄県の人々は、自分たちの（文化）を大切に守り、次の世代に（引きつごう）
としている。

2 あたたかい土地のくらしの特色を考え、教科書 p55 の表にあるキーワードを使って、
キャッチコピーをつくりましょう。また、そのキャッチコピーにした理由を書きまし
ょう。

キャッチコピー

台風にも水不足にも負けないさとうきび

理 由

かんばつや台風に強いさとうきびは、昔から沖縄の農業を支えてきた。そしてこ
れからも沖縄の農業を支えていくと思ったから。 など

⑪

学習プリント＜社会5年 寒い土地のくらしー北海道＞＞NO.1

月 日

教科書 p 56～57

1 地図帳を見て、北海道の位置を確認しましょう。その後、教科書 p 56 の [1]～[3] の資料を見て、北海道の気候の様子についてまとめましょう。

・北海道では、(スキー) や (スケート) の学習をしている。

・北海道の冬は、気温は (0) °C 以下になり、寒い。

・北海道の札幌市は、東北地方のほかの都市と比べると、(人口) が多く、1年間の (雪) のふる量が青森市に次いで多い。

2 教科書 p 57 [4] や [5] の資料を見て、北海道では、寒い気候に合わせて、どのような工夫をしているのか、気付いたことを書きましょう。

- ・二重まどを使い、室内のあたたかさをにがさないようにくふうしている。
- ・屋根の雪が下に落ちないようにくふうされた無落雪の家が多く見られる。など

3 北海道の雪に対する取り組み、北海道でさいばいされている作物、北海道の観光地や文化など、北海道について知っていることや知りたいと思うことを書きましょう。

- ・札幌市では、雪まつりが行われている。
- ・じゃがいもが多く作られている。
- ・アイヌの文化が伝わっている。など

- 1 教科書 p 58・59 を読み、札幌市の雪対策と雪を生かした観光について () にあてはまる言葉を書きましょう。
「札幌市の雪対策」

- ・世界的に見ても、人口が (100 万人) 以上の都市で毎年 (6 m) 近くの雪がふるのは (札幌市) だけ。
- ・雪の多い日は、(夜中) から (朝) の通きん時間まで、1日に除雪車 (約 1000) 台、(約 3000) 人で道路などの雪を取りのぞく。
- ・除雪した雪は、約 70 か所ある (雪たい積場) に運ぶ。市の中心部には、(ゆう

雪しせつ) をつくるなどくふうしている。

「雪や夏のすずしさをいかした観光」

- ・札幌市をおとずれた観光客数は、(8) 月がもっとも多く、夏に比べると冬の観光客は (少 または、多く) ない。
- ・冬に (雪まつり) を行い、観光客の増加に努めている。今では、多くの人々を集める (世界) に知られるイベントとなった。
- ・(雪まつり) は、(すてられた雪) を利用しようと中学生や高校生が始めたお

まつりがきっかけ。

- 2 教科書 p 60・61 を読み、自然を生かした十勝地方の農業について () にあてはまる言葉を書きましょう。

- ・十勝地方は、(広大な平地) が広がり、夏も (すずしい) 気候。
- ・(じゃがいも) をはじめとして、(あずき)、(スイートコーン)、(てんさい)、(小麦) を作っている。
- ・作物の病気を防ぐために、(輪作) をしている。
- ・畑の規模が大きい十勝地方では (大型の機械) を使って作業が行われる。

教科書 p 62～63

組 番 名前 ()

1 教科書 p 62・63 を読んで、北海道の文化について () にあてはまる言葉を書きましよう。

- ・北海道で昔から生活していたのは、先住民族である(アイヌ)の人々。
- ・アイヌの人々は、(チセ)とよばれる家に住み、魚や動物、山菜をとったり、あわなどのぎっこくを育てたりしながら、(ゆたかな自然)の中であくらししていた。
- ・自然のめぐみに(感しゃ)しながら、すべてのものや生き物に、(カムイ)(神)を感じてくらししていた。
- ・北海道の地名の多くは、(アイヌ語)が由来になつたとされている。札幌はアイヌ語で(サッポロベツ)、意味は (かわいた大きな川)。

2 寒い土地のくらしの特色を考え、教科書 p 63 の表にあるキーワードを使って、キャッチコピーをつくりましよう。また、そのキャッチコピーにした理由を書きましよう。

キャッチコピー

雪をこく服し、雪とともに生きる北海道

理 由

たい積場やゆう雪施設などをつくり、除雪が早くできるようにして、人々の生活がこまらないようにするだけでなく、雪まつりで人々を楽しませることができら。 など